

令和4年度住民互助による介護予防を考えるワークショップ開催概要

| | |
|-------|--|
| 名 称 | 住民互助による介護予防を考えるワークショップ i n つやま ～創ろう！地域でのお互いさまの暮らし～ |
| 開催目的 | 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、住民主体の生活支援について学び、住民互助による介護予防、地域づくりについて共に考える機会とする。 |
| 主 催 | 津山市、津山市社会福祉協議会、岡山県美作県民局、生活支援あんしんネットおかやま |
| 参 加 者 | <p>○グループワーク参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サポーター ・既に生活支援に取り組んでいる地域の住民 ・生活支援を検討中の地域の住民 <p style="text-align: right;">計 29 名</p> <p>○活動報告者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津山市役所、津山市社会福祉協議会 ・生活支援グループ「なでしこ」 ・暮らしサポート黒田 <p>○ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援あんしんネットおかやまメンバー、生活支援コーディネーター他 <p>○スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津山市職員、津山市社協職員、県美作県民局職員、県長寿社会課支援員 |
| 開催日時 | 令和5年2月13日（月）13:30～15:30 |
| 開催場所 | 津山市役所2階大会議室（岡山県津山市山北520） |
| 開催概要 | <p>■開会あいさつ 津山市環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課 課長 高谷 祥敬 氏</p> <p>■津山市の現状について</p> <p>津山市環境福祉部社会福祉事務所 高齢介護課 主査 芦田 拓也 氏 津山市社会福祉協議会 第1層生活支援コーディネーター 中塚 慶太 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、家事が不便と感じる人も増えてきており、日常生活を送る上でのちょっとした困り事を地域で支えていくという互助の仕組みづくりが必要となっている。 ・この仕組みづくりに中心的な役割を果たすのが生活支援コーディネーター（SC）であり、津山市では社会福祉協議会にその業務を委託している。 ・SCは、行政をはじめ関係者と連携し、担い手の養成やその活動支援のほか、生活支援サービスの創出や充実・強化に取り組んでいる。 <p>■活動報告</p> <p>○生活支援グループ「なでしこ」代表 有米 英夫氏、三宅 恵美氏 「久世地域で暮らす人々が、ささえあい・助け合いにより安心して生活ができるように“おたがいさま”の気持ちでお手伝いします。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のささえあい地域サポーター養成研修を修了した参加者が、お世話になった地域に恩返ししたいと、令和3年から通院・買物の移動支援、掃除・調理等の家事支援を通じて、高齢者への生活支援を開始。 ・現在は依頼も月平均で22件あり、スタッフ20名、利用登録者40名と活動の輪も徐々に広がっている。今後も無理をせず各人ができる範囲で活動の輪を広げていきたい。 <p>○地域の暮らしを支える「暮らしサポート黒田」代表 稲田 文夫 氏</p> |

「黒田地域で高齢になっても元気で暮らし続けるために」

- ・草刈り・雪かき等困りごとの生活支援のほか、社協の車を借りての買い物ツアーや所有者に代わって車を運転して病院等への送迎を行う移送サービスを行っている。
- ・地域の役に立ちたいと思っている人は多くおり、「そこにちょっとだけ手伝ってほしいとお願いする」ことで力になってもらえる。
- ・行政から助成を受けないため無償ボランティアの部分が大きいですが、逆に気楽に「できる人が、できるときに、できることをする」をモットーに無理をしない活動を展開している。

■グループワーク

- ①活動を聞いて思ったこと、感じたこと、気づいたこと
- ②報告者に聞きたいこと
- ③自分の地域の悩み、課題
- ④他の地域の人に聞いてみたいこと等
- ⑤これから何ができるか！何がしたいか！

■発表タイム

(グループ名／フォー)

公民館など身近なところで介護予防の取組や高齢者の困りごとの把握を行い、同時に仲間づくりをしながら支援の方法を考えていけたら良い。

(グループ名／春一番)

地域の人たちと一緒に生活支援の在り方について考え、住民のニーズを掴んで、サポートをしていきたい。

(グループ名／ゆきだるま)

誰でも参加できるイベント・会合の場など多くの人に参加してもらえる機会を増やして、それを継続していきたい。同時に、リーダーとなる人の養成も行っていきたい。

(グループ名／No. 1)

これから私達は元気で遊び、町内会活動がスムーズにいくように、他の組織と連携していきたい。

(グループ名／つやまなでしこ)

支援するに当たって困りごとの把握ができていないため利用が少ないことと、後継者の育成が課題である。まずは、近所での助け合いを大事にしていきたい。

(グループ名／雪)

後継者がおらず、代表等役員がいなくなるのではとの不安はあるが、「できることをできるときにできる人がする。無理はしないで頑張る。」の精神で活動を続けていきたい。

(グループ名／ナンバーズリー)

誰がどのような困りごとを持っているかを地域みんなで共有することが、まず第一歩。何ができるかは、それから考えていきたい。

■まとめ

地域において困りごとを頼みあえる信頼関係を築くことが大切。一人一人の困りごとは社会の課題であり、信頼できる仲間づくりをしていく中で、課題解決につながる仕組みができるといいですね。

■閉会あいさつ 美作県民局健康福祉課 統括参事 岡田 雅之 氏

津山市の現状
報告の様子



活動発表
の様子



グループワー
クの様子



グループ発表
の様子



ワークショ
ップを終え
て
～生活支援
あんしんネ
ットおかや
ま～

活動報告に対しては興味深く耳を傾けていただき、質問も驚くほど多く出ました。今後、地域の中で助け合い活動を実施していくうえでの参考になる報告であったと思います。グループワークでは短い時間でしたが、熱心に地域の課題等について検討していただきました。今回このワークショップに参加してくださった人たちは、これを縁にして引き続き情報交換等を行い、SCと共に、「困った時はお互いさま」の気持ちで、生活支援の輪を広げ、地域の中でますますご活躍いただけたらと思います。

**住民互助による介護予防を考える
ワークショップ IN つやま**
～ 創ろう！地域でのお互いさまの暮らし～

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、住民主体の生活支援について学び、住民互助による介護予防、地域づくりについて一緒に考えてみませんか。

令和5年 (受付：13:00～)
開催日時 **2月13日(月)13:30～15:30**

会場 津山市役所 2階大会議室 (津山市山北520)

対象者

- ・既に生活支援に取り組んでいる地域の方
- ・生活支援を検討中の地域の方
- ・生活支援サポーター (津山市登録)

定員：50名
【申込み締切日】
令和5年1月31日

内容

- ①「津山市の現状について」
津山市・津山市社会福祉協議会
- ②「活動報告」
・生活支援グループ「なでしこ」(真庭市久世)
・くらしサポート黒田 (真庭市黒田)
- ③ グループワーク

📞 お申し込み方法・お問い合わせ先は裏面をご覧ください。

主催：津山市、津山市社会福祉協議会、岡山県美作県民局、生活支援あんしんネットおかやま

申込み締切日：令和5年1月31日(火)

★ 申込方法：お電話で下記の内容をお申し込みください。
名前(ふりがな) 住所 所属団体名(あれば) 電話番号

★ お申し込み先・お問い合わせ先

津山市役所 高齢介護課・・・0868-32-2070
津山市社会福祉協議会・・・0868-23-5130

【新型コロナウイルス感染拡大防止について】
本ワークショップは、消毒・換気等の新型コロナウイルス感染拡大防止策を行って開催します。御参加の皆様には、マスクの着用、手指の消毒等に御協力をお願いします。また、当日、隣性の方や感染が疑われる方については、参加を御遠慮願います。なお、状況により開催を延期、中止とする場合がございます。

◆ 申込書 (所属団体:)

| お名前 | 住所 | 電話番号 | |
|-----|----|------|----|
| | | 固定 | 携帯 |
| | | 固定 | |
| | | 携帯 | |
| | | 固定 | |
| | | 携帯 | |
| | | 固定 | |
| | | 携帯 | |
| | | 固定 | |
| | | 携帯 | |
| | | 固定 | |
| | | 携帯 | |